

# マツザカシダ

*Pteris nipponica* W.C.Shieh

## イノモトソウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

生育地がごく稀で、人為の影響の強いところに生育している。(現況:RO)

### 形態

葉は二葉形、栄養葉の羽片は3~5枚、オオバノイノモトソウに似るが、長さの割に葉の幅が広く、葉面が緑色または中央に縦の白斑が入る。孢子葉は幅が狭く、栄養葉より長い。

### 国内分布

本州、四国、九州(屋久島以北)。

### 県内分布

中能登区、南加賀区。

### 生態など

常緑生の半地中植物で、繁殖は根茎と孢子による。孢子は7月頃から熟し始め、風で散布する。無配生殖を行う。

### 生育環境

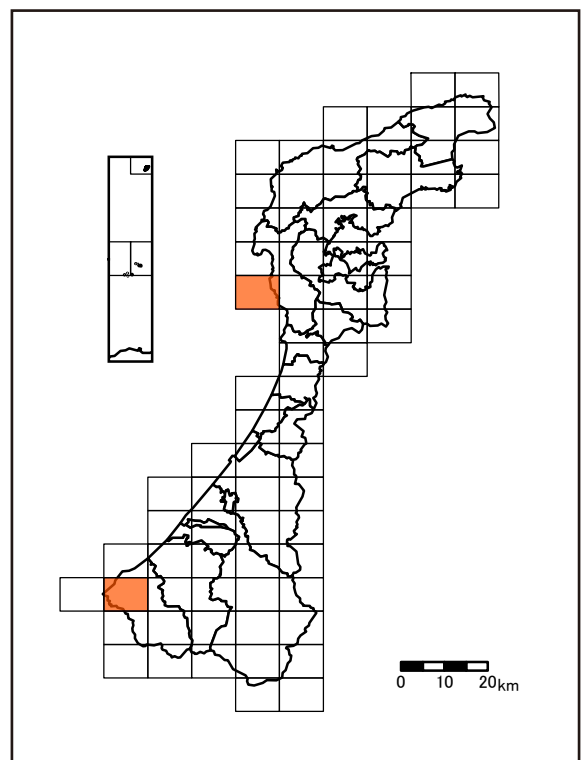
山足の斜面、路傍の斜面、石垣の石の隙間など。

### 危険要因

森林伐採、動物食害、産地局限。



林 二良・2009年3月23日・外浦



県内の分布